



## i n t e r v i e w

経済産業省 素形材室長／  
ものづくり政策審議室長

田中哲也氏

Tetsuya Tanaka

型技術協会副会長／九州工業大学  
情報工学部機械情報工学科 教授

鈴木裕氏

Hiroshi Suzuki

鈴木 今回は、経済産業省の素形材室長兼ものづくり政策審議室長の田中哲也さんに、国内金型業界および金型メーカーに対してのご意見をお聞かせいただきたいと思います。また、金型メーカーが活用できる行政サポートの内容についても教えていただければと思います。

田中さんは2011年7月に素形材室長に就任されましたが、その前の勤務地はニューヨークだったと聞いています。そこではどのような業務を担当されていたのですか？

田中 経済産業省からジェトロ（JETRO・日本貿易振興機構）ニューヨークへ出向していました。主な仕事内容は、日本の中小企業がアメリカへ進出するお手伝いをする事です。ただし、ニューヨークという土

**型業界が一丸となって  
海外展開を積極的に  
行うべき！  
そのためのスキームを  
多数用意しています**

地柄、製造業よりも食品関連やアニメなどのコンテンツ産業が多かったです。具体的には、アメリカ企業へ売り込むために現地の展示会に日本企業のブースを設けてアピールしたり、お客さんになりそうなアメリカ企業を日本企業に

紹介したり、アメリカ企業のバイヤーを日本に招聘して現場視察ツアーを企画したりといった支援です。また、アメリカに拠点を置きたい日本企業に弁護士や会計士を紹介する支援も行っていました。

そのほか、日本の大学が持っている知財、例えばバイオ技術やIT技術などをアメリカ企業にライセンスアウトするためのお手伝いも行っていました。本来、こうした日本の大学の知財は、日本企業が買ってくれるのが理想なのですが、日本企業はリスクを冒したが